



日本共産党区議会議員
**こんにちは
 伊藤和彦です**

自宅・足立区花畑6-7-23
 足立区役所・電話3880-5111(内線4650~4654)
 日本共産党議員団・直通・3880-5770~1
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

原油高騰

足立区議会 第一回定例会
 予算委員会の論戦から

影響から区民まもれ 公衆浴場への補助実現

二〇〇八年度予算審議を行った予算特別委員会(二月六日)で日本共産党の伊藤和彦議員は、原油高騰の影響から区民のくらし営業を守る問題、環境対策を取り上げ区に迫りました。

予算委員会・伊藤和彦議員
 の質問要旨は次のとおりです。

格転嫁できない公衆浴場などへの燃料高騰分の補助を実施することはどうなったか。

○質問―原油高騰の問題で聞く。わが党は「原油・原材料から区民のくらし(営業を守るための緊急要望」(4項目)を一月八日提出した。①区として対策本部を設けて影響調査を行い実態把握する②低所得者・高齢者・母子家庭・障害者世帯等の「福祉灯油券」を発行し支援する③価格転嫁できない公衆浴場などへの燃料高騰分の補助を実施する④当面中小企業の制度融資への利子補給拡充や、返済期間の延長等可能な方法を一歩でも二歩でも講じることで、①の相談窓口が開設された。②の価

●答弁―原油高騰が経営を圧迫し、法律でも「公衆浴場経営の安定を図る必要な措置を図る」等あり、また価格統制のためすぐに転嫁できないので一時的に41.3万円支給した。

○質問―45軒の公衆浴場への補助が実施され大変喜ばれている。原油高騰について区が調査した結果は83.8%が「高騰分を販売価格に転嫁できない」、81.6%が「経営を圧迫」と回答。公衆浴場に支援したように具体的な対策を講じるべきだ。

○質問―影響は一産業、一企業に止まらず多様にわたる。全体として助成する考えはない。

○質問―中小企業の制度融資への利子補給を拡充することや、返済期間の延長などはどうか。

●答弁―昨十月に100%保証の小口零細資金、セーフティネットの制度で、原油高騰に影響がある業種に、国が五号認定すれば様々な優遇がある。これで十分な対策だと考えている。

○質問―融資の改善が連続し、足

○質問―子育てパスポート事業の協力商店は、現在568軒と、あまり増えていない。商店主から「商売が大変な時に5%負担なんてとんでもない。参加したのは会長、副会長(の商店)だけだ」との声もある。(割引分をそっくり商店が負担するこの事業は、子育ては支援したいが)店舗が応援する余裕がないからだ。区が協力店に助成することで協力店

が増え、子育て支援と商店振興の相乗効果になる施策だと思っどうか。

●答弁―区がやっている子育てパスポート事業に商店街の方で活用してもらいお客を集めていただく事業である。

○質問―区はこの事業の目標を千軒としていた。(目標に到達しないのは)この事業の進め方が商店街の現状に合っていないからだ。そこに手立てをする必要がある。

次に、わが党は高齢者支援と商店街の活性化を図るモデル事業を提案した。高齢者が電話やファックスで商品注文をし、連絡を受けた「買物コーディネーター」が八百屋さんや肉屋さんなどのお店と連絡をとり、宅配ルートに乗せる、お店が宅配できない場合は、コーディネーターが宅配する、いわば買物お助けマンで、高齢者と結んで商店を支援してはどうか。

○質問―わが党は「真に地球にやさしいまちをめざして」と地球温暖化対策への提言を提出した。

●答弁―宅配は各店の自動努力でやっている聞いています。数年前に(宅配)検討したが採算ベースに合わない。商店街と消費者の採算が合えば大いにやればよい。

○質問―子育てパスポートへの参加商店が増えないのは5%負担が重いから

○質問―子育てパスポート事業の協力商店は、現在568軒と、あまり増えていない。商店主から「商売が大変な時に5%負担なんてとんでもない。参加したのは会長、副会長(の商店)だけだ」との声もある。(割引分をそっくり商店が負担するこの事業は、子育ては支援したいが)店舗が応援する余裕がないからだ。区が協力店に助成することで協力店



裏へつづく

ご意見、ご要望をお寄せください



低エネルギー交通の推進は地球にやさしくCO2削減に重要

環境対策

区の計画案に示されている低

エネルギー交通の推進はCO2削減のために重要なことだ。

「公共交通、自転車等の利用促進のための環境を整備する」ことを具体的に目標化する必要があると思うがどうか。

●答弁―自転車は環境負荷が少なく整備を前向きに検討していく。

○質問―平地の多い足立区の特性を生かした対策として、自転車の利用向上のために自転車専用レーンを計画的に導入することや、人も自転車も安全に通れるよう、既存の歩道の広い道路についても計画的に歩行レーンと自転車通行レーンとに分離することをすすめるべきだ。レーンのある西新井駅前道路は色分けと看板で表示してあるが実質的に自転車と歩行者が分離され

ていない。きちんと分離する必要があると思うが。

●答弁―自転車走行の整備は、歩道幅員を広げる。安全性のため検討する。

○質問―歩道側の車道に区切った自転車専用道をつくるよう、新規の道路整備に合わせて計画的に進めること。竹ノ塚駅前通りも専用レーンを整備していくべきだがどうか。

●答弁―おおせのとおり、竹ノ塚は可能性を検討する。所管の交通管理者と協議していく。

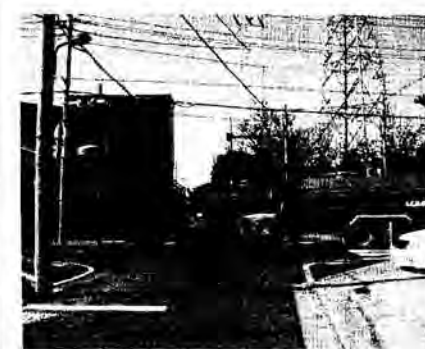
○質問―緑化をすすめ、緑被率を高めることは、CO2削減効果はもとよりヒートアイランド対策にも有効だ。区では目標を緑被率から樹木率へと変えた。ところが「読売新聞」に「足立の大樹、相次ぐ伐採」保存して229本解除の報道があった。保存樹が育った土地を相続した世代が手放したり、区画整理で土地を売却する等で保存樹が伐採されているが、保存樹への支援を充実させて伐採を防ぐことは必要ではないか。

「自転車の利用促進」のために専用レーンの設置を

●答弁―おっしゃるとおり、相続の問題は国へ要望する。
○質問―区は「日本一地球にやさしいひとのまち」を単なるスローガンや絵に描いたものにならないように、区のすべての部署で取り組むべきことを指摘する。
(質問終了)



用途違反の建築物



三月十三日開かれた区議会建設委員会で、花畑2丁目の生コン工場は第1種住宅地域であり用途地域違反の工場であることが明らかになりました。
その後の調査で、建築調整課長は「違反と見うけられると答弁したが、5年ほど前に建設され違反については横の連絡を取り指導している。建築違反で建築許可届けもないままである」と答えました。
この周辺の住民からは、早朝から大型車が走り騒音・振動・危険であり工場があるのがおかしい」の声寄せられています。



「新銀行東京」に追加400億円投入に、区民は怒っています。
竹ノ塚駅東口で「シール投票」を行いました。約30分で反対105 賛成6でした。北千住駅で行ったものと合わせて、合計反対580 賛成23 「石原都知事はおかしい」「いいかげんにしてよ」の声。